

2. 横手市の生活排水処理の現状

2-1 生活排水処理施設の種類の種類

し尿や、炊事、洗濯、入浴などに伴い排出される生活排水を、公共用水域に放流する前に処理を行う「生活排水処理施設」にはいろいろな種類があります。

複数の建物から排出される生活排水を管路で集め、まとめて処理する施設(集合処理)と、建物と同一敷地内に設置し生活排水を処理する施設(個別処理)とに大別され、それぞれの地域で、その地域の実情に応じた整備手法が選定され、整備が行われています。

主な「生活排水処理施設」は図2の通りです。

なお、本市では図中の赤字で示している生活排水処理事業を実施しており、それぞれの処理区において選定している整備手法の概要は、表1のとおりです。

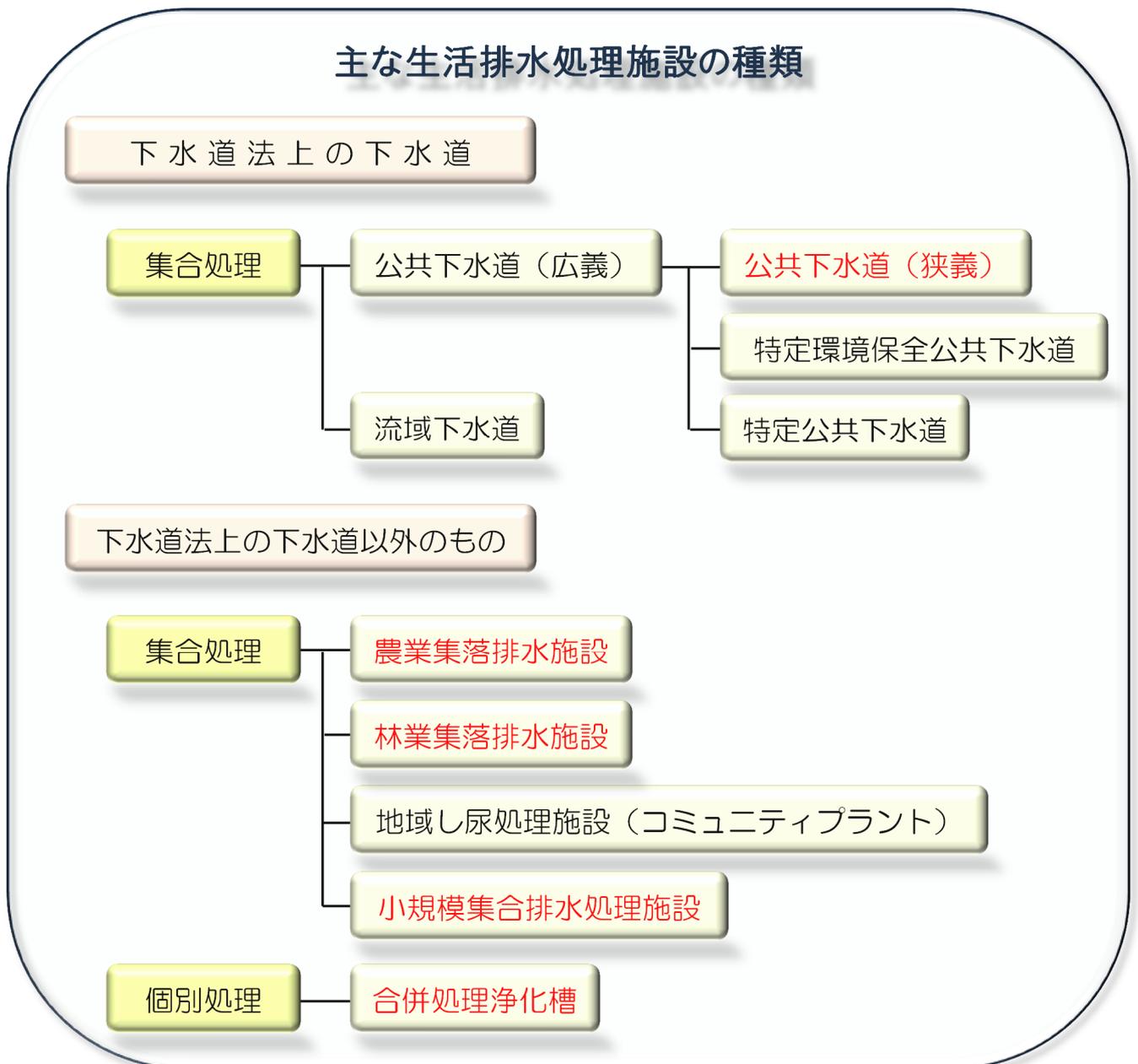


図2 主な生活排水処理施設の種類の種類

表1 横手市の生活排水処理施設の整備手法の概要

事業名	対象地域	対象人口	該当処理区
公共下水道 (狭義)	主として市街地	制限なし	横手処理区 相野々処理区
農業集落 排水施設	農業振興地域(これと一体的に整備することを相当とする区域を含む)内の農業集落	原則として 概ね1,000人程度	金沢処理区 川西処理区 十日町処理区 大森処理区 本郷処理区 上溝処理区 今泉処理区 植田処理区
林業集落 排水施設	林業振興地域又は森林整備推進市町村の区域	原則として 概ね1,000人以下	武道処理区
小規模集合排水 処理施設	特に制限なし	原則として住宅戸数 2戸以上20戸未満	矢走処理区
合併処理 浄化槽	主に下水道事業計画区域外で生活排水対策が必要な地域	特に制限なし	横手市全域

横手市のマンホール蓋のデザイン その1

横手地域



冬の「かまくら」と春の「横手城とさくら」

増田地域



増田出身の漫画家矢口高雄氏の作品「釣りキチ三平」

平鹿地域



花「あやめ」、特産物「りんご」あやめ咲く「浅舞公園」

2-2 生活排水処理の現状

本市の生活排水処理は、公共下水道（流域関連公共下水道・単独公共下水道）や、農業集落排水施設、林業集落排水施設、小規模集合排水処理施設、及び合併処理浄化槽により進められています。

生活排水処理人口普及率は、平成27年度末で75.2%であり、整備手法別では、公共下水道48.5%、農業集落排水施設等8.5%、合併処理浄化槽18.2%となっています。

この生活排水処理人口普及率75.2%は、全国の平均汚水処理人口普及率89.9%及び秋田県の平均汚水処理人口普及率85.4%より下回った数値となっています。

「生活排水処理人口普及率」とは、公共下水道や集落排水施設等を利用できる人口に、合併処理浄化槽を利用している人口を加えた値を、行政区内人口で除して算出した、生活排水処理施設の普及状況を示す指標で、国土交通省が発表している「汚水処理人口普及率」と同じものになります。

表2 横手市の生活排水処理人口普及率(平成27年度末現在)

整備手法		処理人口（人）	普及率（%）
集合処理	公共下水道	45,470	48.5
	農業集落排水施設等※	8,047	8.5
個別処理	合併処理浄化槽	17,033	18.2
整備済計		70,550	75.2
未整備		23,266	24.8
合計（行政人口）		93,816	100.0

※ 農業集落排水施設等には、林業集落排水施設、小規模集合排水処理施設を含む。

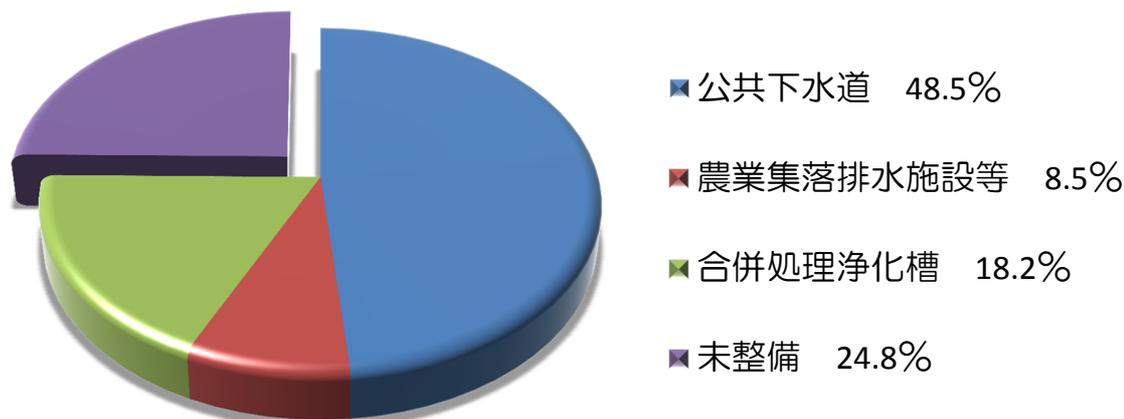


図3 横手市の生活排水処理人口普及率(平成27年度末現在)

横手市の集合処理施設

◇ 流域関連公共下水道

横手処理区（横手・増田・平鹿・雄物川・十文字・大雄地域）

◇ 単独公共下水道

相野々処理区（山内地域）

◇ 農業集落排水施設

川西処理区・十日町処理区・大森処理区・本郷処理区・上溝処理区
（大森地域）

今泉処理区・植田処理区（十文字地域）

金沢処理区（横手地域）

◇ 林業集落排水施設

武道処理区（大森地域）

◇ 小規模集合排水処理施設

矢走処理区（大森地域）

横手市の個別処理施設

◇ 浄化槽設置整備事業

本市においては、「浄化槽設置整備事業（個人設置型）」を実施しており、主に居住を目的とする住宅等に浄化槽を設置（新築・増改築・トイレの水洗化等）する方を対象に、浄化槽本体の一部に対して補助金を交付しています。

※一部の地域については、補助対象にならない場合などがあります。